

第1回 住民説明会 質疑応答の要旨

（質問・意見）湖の中の環境が変化してきている。具体的には濤沸湖に流れ込む河川の河床が高くなって、水がオーバーフローしている。近年、湖の砂州（の砂）が急速に増大している。海から入ってきたものであるが、漁業者としては取り除いてもらいたい。未だ資料ができていないが、濤沸湖の環境保全について協議する「濤沸湖及び周辺地域の保全推進協議会」では、H19～20年にかけて話し合いを持ち、意見としてはかなり出ていたはず。

（回答）濤沸湖がラムサール登録をされ、将来のためにまずはビジョンを作ろうと言うことから協議会で話し合い、問題提起をしてもらった。今後は出された課題に対しどこから手を付けていくかを話し合う予定。ビジョンに基づいてどのように進めていくかを議論していきたい。（網走市）

（質問・意見）濤沸湖に対して環境省と協議会がそれぞれ別に取り組むのではなく、同じビジョンを持って取り組むということでしょうか？

（回答）そのように進めたい。（環境省、網走市）

（質問・意見）今回の整備案（A地点）はお金がかからない場所だと思う。野鳥は餌をやるからあそこに来る。ハクチョウはどこからでも飛んでくるので上陸点としての配慮は考えなくても良い。アッケシソウはB、C地点にも群生しているし、D地点にも多い。A地点だけでなく、能取湖のようにアッケシソウが観察できるようにB、C地点にも何か整備する考えはあるのか？

（回答）ラムサール条約は野鳥の保護だけを対象にしているのではない。今回は野鳥の観察を対象とした整備となるが、アッケシソウなどの植物の保護・利用は今後の課題。他の地区まで全てを今回の環境省の整備1回で行うことは、なかなかできない。（網走市）

（質問・意見）過去にヒオウギアヤメは湖周辺に群生していたが、今はAの場所だけになっている。なぜそのような場所に整備しなければならないのか。

（回答）ヒオウギアヤメは馬を放牧することで人為的に維持されてきた植生で自然植生ではない。今回は、白鳥公園との連携等の諸条件を重視し、この場所を選定したが、一方で、アヤメ群落の再生に関わってきた地域住民の方のお気持ちもあるので、移植するなどして、ヒオウギアヤメも大切にしていきたい。（環境省）

（質問・意見）予定区域周辺は、沖風が強いときには白鳥が避難する場所である。

（回答）建物は、なるべく湖岸側よりも陸地側に寄せるようにして、上陸利用に配慮したい。（環境省）

（意見・質問）昔は湖の真ん中で砂が堆積していたが、白鳥公園付近に砂州ができて湖の流れが変わり、予定区域湖畔の岸が浸食されてきている。

（意見・質問）過去に、予定区域の湖畔が浸食されたため、護岸工事の実施を要望したが、アヤメが群生していることと予算的な問題からダメと言われたことがある。このような経緯があることから、すんなりとOKとはならないのではないか。

（回答）浸食のおそれについては承知している。放置しておくとも湖畔が削られていくかもしれない。環境省で何ができるかは分からないが、総合的に湊沸湖の環境保全を考えていく必要があると考えている。また、アヤメについては、予定区域内の全域を改変して建物を造るわけではなく、できる限り、ヒオウギアヤメは保全していく。土地の改変面積を一番小さくするために、ヒオウギアヤメの再生地の中でも、白鳥公園の近くに寄せた案を考えている。（環境省）

（意見・質問）白鳥公園をこのままの状態を手を付けずに置いておくことは良いとは言えないのではないかと？時代に応じて、整備を加えていくこと等が要求されると思う。今回はその手を加えることが出来るよい機会になるのではないかと。

（意見・質問）今回の施設整備について、これまでいっさい説明がないのに、新聞で報道され、インターネットで調べると細かく予算要望までされている。このような進め方では不信感を持つ。

（回答）地域への御説明が遅くなった事は申し訳なく思う。できるだけ皆さんの意見を聞きながら進めたい。（環境省）

（意見・質問）総事業費はいくらか？

（回答）要望は2カ年で3億数千万円程度である。（環境省）

（意見・質問）既存の観察舎との違いは？

（回答）既存施設は、展望機能はあるがパネルで紹介している程度であり、今回の施設は先に説明した他施設の例のように環境学習の面から説明内容を充実していく考えである。また、観察舎ではお土産等の物品販売は行わない。（環境省）

（意見・質問）施設を造ると今より来館者はどのくらい増加するのか？来館者数が増えなくても良いのか。

（回答）網走市の調べでは、白鳥公園を訪れる観光客は、現在、年間5万人程度。増加予測までは計算していない。一般的に環境省が整備する施設は、観光施設ではなく、環境学習施設なので、来館者数のみで判断していない。中身の濃い情報提供を行って来訪者に湊沸湖の事を深く理解してもらえ施設にしたいと考えている。（環境省）

(意見・質問) 人件費は自治体が持つことになっているが、地区の人にも出してもらうことになるのか？除雪など、地元が事務的負担をすることがないようにしてもらいたい。受けてからは自治体が大変になる。結局は市民が負担することになる。

(回答) 詳細な運営体制についてはこれから調整していく段階である。(環境省)

(意見・質問) 後になって困らないよう、市と書面にて確認しておいた方がよいのではないか。

(意見・質問) 整備についても学識経験者が早い段階から入っておいた方がよいのではないか？

(回答) 白鳥公園の観察舎は観光施設、環境省の施設は普及、学習施設と機能を分けて考えている。環境省施設で特に注目しているのは環境教育。市内には東京農大があるが、学生は地域外から来ており、その学生の方が地域のことをよく知っている。また、白鳥台小学校が行っているような取り組みを全市的に広げて行きたい。(網走市)

(意見・質問) これまで市内の小学校が湊沸湖に来ているのか？教育委員会とちゃんと連携して進めていくべき。

(意見・質問) このような施設を作る際には、既に地元で環境教育を行っていて、施設的なものが足りないから作るのが筋で、施設を作ってから環境教育の体制を作っていくのは逆ではないか。

(意見・質問) 今後また説明会を行うのか？

(回答) 基本設計を作成する段階で、皆さんの意見を反映させるために、説明する機会を持ちたい。(環境省)

(意見・回答) 次回は予算についてもきちんと説明して欲しい。

(回答) 次回は、予算についても示したい。(環境省)

(意見・回答) (湖の南側の農道等で) 観光客が来るようになって野鳥・野草を観察する人が多くなった。道路のカーブにも車を止めたりするので危険である。道路沿いにパーキングエリアを造る、拡幅する等の対応をしてほしい。

(回答) 今回は北浜地区に設ける環境省の施設に関する説明会なので、場を改めて意見をいただきたい。(網走市)